

## 公衆衛生看護管理論 I

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

地域の健康課題を解決するための地域診断について学修する。先進事例を学び、地域診断のステップをアセスメント、情報収集等、得られた情報の分析を行う。その後、地域の健康課題を解決するための方策を検討し、実施可能な事業を考える。考えられた事業の提案をするため、地域診断の経過をわかりやすくまとめ、発表を行う。また、地域診断の各段階（計画立案、実施、事業化、提案）について評価を行う。

・教育成果（アウトカム）

地域アセスメント<地域診断>に基づき地域の健康課題を明確化し、事業化・施策化の具体的な方法を学び、公衆衛生看護学実習地域の地域保健活動を分析することで、公衆衛生看護管理の基本技術を習得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 公衆衛生看護活動における地域診断の意義を理解できる。
2. 地域診断の展開過程を理解できる。
3. 実習地域の地理的特徴を把握できる。
4. 実習地域の既存資料から地域の健康と生活・環境に関するデータおよび保健事業の状況を整理できる。
5. 実習地域の整理した情報からアセスメントし健康課題を抽出することができる。
6. 健康課題の優先順位をつけ、地域の多職種・多機関の機能を生かし具体的な事業が提案できる。
7. 実習地域の地域診断・事業化の過程をまとめプレゼンテーションできる。
8. 作成した地域診断を実習地域で検証する視点を持てる。

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/11 (火) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 赤井 純子 助教	<p>実習地域の既存の資料の把握 (ペアワーク、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存資料や Web 情報から実習地域 (市町村) の上位計画や各種保健医療福祉計画等の把握ができる</li> <li>・ 実習地域の社会資源マップを作成し、地理的な特徴を捉えられる</li> <li>・ 実習地域の特徴をわかりやすく説明できる</li> </ul> <p>事前学修：3 年生で履修した「保健医療福祉行政論」の各種計画を復習する。実習地域の地理的特性、社会資源を調べ、プレゼンテーション資料を作成し提出すること。</p> <p>事後学修：発表内容を振り返り、加筆修正する</p>
4/11 (火) 4限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>公衆衛生看護活動における地域診断の意義と展開過程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公衆衛生看護活動における地域診断の意義、目的・対象・展開過程・方法を説明できる</li> <li>・ コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用した、情報分析の視点を説明できる</li> <li>・ 実習する保健所・市町村の位置的な把握ができる</li> <li>・ 保健所管内の市町村・2次医療圏を説明できる</li> </ul> <p>事後学修：実習市町村のコミュニティコアをまとめる</p>
4/26 (水) 2限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 赤井 純子 助教	<p>実習地域のデータ分析 1 (ペアワーク、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のコミュニティコアに関する情報収集ができる</li> <li>・ 地域のサブシステムに関する情報収集ができる</li> <li>・ 実習地域の特徴をわかりやすく説明できる</li> </ul> <p>事前学修：プレゼンテーション資料を作成し提出する</p> <p>事後学修：発表内容を振り返り、加筆修正する</p>

<p>4/26 (水) 3限</p>	<p>地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 松岡 真紀子 助教 赤井 純子 助教</p>	<p>実習地域の健康課題の抽出（ペアワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地域のコミュニティコアとサブシステムの情報を統合しアセスメントできる</li> <li>・地域の強み・弱みが見いだせる</li> <li>・収集したデータから関係性を整理し、関連図に示せる</li> <li>・既存統計資料を活用した実習市町村の分析、健康課題を検討できる</li> </ul> <p>事後学修：実習地での発表を想定し、プレゼンテーション資料をわかりやすく作成し提出すること。地域診断シートを作成しておくこと</p>
<p>6/6 (火) 3限</p>	<p>地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教</p>	<p>実習地域の健康課題の抽出（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地域の健康課題について、根拠となるデータを用いて、わかりやすく説明できる</li> </ul> <p>事後学修：事後学修：発表内容を振り返り、加筆修正する。健康課題の優先順位の検討を行う</p>
<p>6/6 (火) 4限</p>	<p>地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授</p>	<p>健康課題に対する施策化・事業化（グループワーク・ペアワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業計画立案に必要な情報収集・分析、優先順位の検討などの方法を整理できる</li> </ul> <p>事前学修：配布資料を読むこと 事後学修：実習地域の明らかになった健康実態、地域特性をもとに、健康課題解決に向けて必要な事業を考える</p>
<p>6/13 (火) 4限</p>	<p>地域包括ケア講座 赤井 純子 助教</p>	<p>保健事業計画立案（健康教育立案）（グループワーク・ペアワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかになった健康実態、地域特性をもとに、健康課題解決に向けて必要な事業を考え、その一部について健康教育計画を立案できる</li> <li>・実習地域での発表を想定した、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成できる</li> </ul>
<p>6/13 (火) 5限</p>	<p>地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教</p>	<p>保健事業計画立案（健康教育立案）（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地での発表を想定した、地域診断および健康教育計画を、わかりやすく説明できる</li> <li>・不足な情報を捉えられる</li> </ul> <p>事後学修：発表内容を振り返り加筆修正し、今までの発表資料を統合させて提出すること</p>

6/19 (月) 1限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>実習地域のデータ分析 2 (ペアワーク・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習保健所圏域のコミュニティコア (人口構成、疾病構造、生活習慣等)、サブシステムの情報から、特徴を見出すことができる</li> <li>・実習保健所圏域の健康課題を分析できる</li> </ul> <p>事前学修：県の医療計画や健康増進計画から、保健所圏域の保健医療圏および保健医療提供体制、健康課題について調べる</p>
6/19 (月) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>実習地域の保健活動の理解 (ペアワーク・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所で行われている地域保健活動を調べ、その法的位置づけおよび役割を説明できる</li> <li>・保健所保健師の役割を説明できる</li> </ul>
6/26 (月) 1限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>地域診断に基づく活動の展開 (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を対象として活動を展開する保健師の視点、健康課題の把握、実践、住民との協働、評価の一連を関係づける</li> <li>・健康課題解決に向けた保健師の役割を考える</li> </ul> <p>事前学修：配布資料から、活動展開過程を整理すること</p>
6/26 (月) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>地域診断に基づく活動展開過程における保健師の役割 (発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康課題解決に向けた保健師の役割を説明できる</li> <li>・地域診断に基づく活動展開における保健師の役割を述べることができる (ディスカッション)</li> </ul>
7/3 (月) 1限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>行政における保健計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策・施策・事業の構造を理解できる</li> <li>・上位計画や各種保健医療福祉計画を把握し、健康課題解決のためのプロセスを説明できる</li> <li>・保健事業評価の視点を説明できる</li> </ul> <p>事前学修：実習地域の各種保健医療福祉計画、ホームページ等から保健事業を1つ取り上げ、計画との位置づけを確認し、事業の実施の背景を調べる</p>
7/3 (月) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 松岡 真紀子 助教 赤井 純子 助教	<p>実習地域の保健活動の展開過程 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業をPDCAサイクルで整理できる。</li> <li>・事業の計画・実施・評価の一連の過程が説明できる</li> </ul> <p>事後学修：「保健活動展開過程のまとめ」を作成すること</p>

7/10 (月) 1限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>PDCA に基づく施策化・事業化プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCA サイクルを回す意義を説明できる</li> <li>・事業化、施策化における保健師の役割を理解できる</li> </ul> <p>事後学修：地域診断過程、事業化の過程を振り返り、活動展開について考えたこと、今後の活用について考えたことをまとめ、提出すること</p>
-------------------	----------------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第6版	標 美奈子 他	医学書院	2022
参	地域看護アセスメントガイド第2版	佐伯 和子 編	医歯薬出版	2019
参	地域特性がみえてくる地域診断	都筑 千景 編	医歯薬出版	2020
参	標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論	藤内 修二 他	医学書院	2021
参	PDCA の展開図でわかる「個」から「地域」へ 広げる保健師活動 改訂版	守田 孝恵 編	クオリティケア	2019
参	公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護 の方法と技術	佐伯 和子 編	医歯薬出版	2022

・成績評価方法

定期試験 30%、指定した提出課題および地域診断プレゼンテーション 70% により総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

授業開始に当たり、地域看護学Ⅱで学修した地域診断の復習をして臨むこと。実習地域ごとに資料をまとめ発表していくが、教科書・既存資料・インターネットを利用したペアでの事前・事後学習が必要になるので、授業内容を把握し見通しを持って進めること。事前・事後学修は、各回 90 分以上を要する。本科目は公衆衛生看護学実習に連動している。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

- ・ペアワークを中心に演習を行う。地域診断の課題は段階を踏みながら進める。その段階ごとに WebClass を活用した資料提出を求める。提出期限は授業で指定する。
- ・提出された資料には、コメントを添えてフィードバックする。
- ・地域診断のプレゼンテーションは評価表に基づき評価する。
- ・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する。

【その他】

Web サイト利用・資料作成のため、全員パソコンを持参のこと（指示する）

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター（VPL-FW60）	1	講義用スライド
演習	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
演習	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義用資料投影